



重度障がい児支援 花色

NEWS LETTER

vol.57

2025.11.6

「災害対策委員会 & スタッフ」



【ぼうさい②】 第一回 ぼうさいミーティング



9月17日 地域の繋がりを深め、災害時に助け合うための“顔の見える”絆づくり[第一回ぼうさいミーティング]を花色で開催しました。医療関係者・地元企業・民生委員等23名の方がご参加下さいました。それぞれの得意を持ち合い地域力を高める集まりです。

「それって必要な方？」と思われる方もいるかもしれません。

東京には国営東京臨海広域防災公園があります。その広大な敷地内に、**「そなエリア東京」**という防災体験施設があり、そこで「東京直下72時間ツアー」を行っています。地震発生後72時間の生存力をつける体験学習ツアー。最初にガイドさんが**「皆さん、3日間は助けに行けません。どうか、自分の身は自分で何とかしてください。」**とお願いします。昨年、奥能登豪雨支援に入った際に身をもって経験した事です。支援者がいなくて困っていました。その時、厚労省・社協・石川県すべてが支援者の受け入れをしていません。理由は、被災地の安全が確保されなければ、二次災害を避けるために許可を出せないのです。



公共機関はどこもごった返し電話も通じません。災害が発生した時、「誰か助けて！」ではなく、「自分と家族は私が守る。」という考え方で備えなければ生き抜けません。数日間は**公助**に頼らず、自身と地元で何とかしなくてはいけません。災害は起きて欲しくありません。一生に一度あるか無いかも知れませんが、その災害がどんな状況になるかを想像し、知識を深め、平常時に備えることが大切です。「災害が起きたら考えよう。」なんて、無理な話です。周囲の景色が変わり、緊迫した状況の中、知らない相手に連絡をしたり、お願いごとをするほど心の余裕はありません。だからこそ、穏やかな日常の中で挨拶をし、顔を知り合える間柄になれば、気にかけ協力し合えます。そんな大切なキッカケになる**[第一回ぼうさいミーティング]**は花色の災害対策委員会が企画し、職員みんなで協力しました。初めての事はエネルギーが要ります。そこを乗り越えカタチにするのは大きな一歩です。助け合いの土台になりますように。そして、花色のこども達を知ってもらい、協力の輪が広がりますようにと職員一同願っております。これからも宜しくお願ひ致します。



次回**第二回ぼうさいミーティング**は12月5日（金）18:30～ 「お申込みは花色ホームページからお願ひします。」

13 地域の話題 2025年(令和7年)10月23日(木曜日)

旭川で懇談会 防災士が助言 災害に備え「地域のつながりを」

災害に備える懇談会が旭川市で開かれました。地元住民や市役所職員ら約250人が参加しました。花色の主催で、防災士の資格を持つ施設運営会社の齊藤由紀子さんと、花色の代表が講師を務めました。石川県の能登半島地震や奥能登豪雨の現状や日々の備えについて意見を交わしました。

【北海道新聞 10月23日(木)掲載】

防災に興味を持ちご参加いただいた 北海道新聞 土門さん、有難うございます。

こしにちば*

看護師の竹中です

花色で働き始めて3ヶ月が経ち、少し慣れてきました。子ども達が楽しく過ごしてもらえるよう関わっていきますので、今後とも宜しくお願ひいたします。

NEWS LETTER

秋



秋は十五夜でしょ~



ハロウィンパーティー



ボールプールで大はしゃぎ



読書の秋ですよね

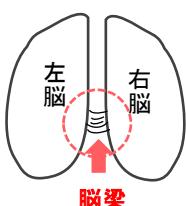
育児あるある

「ねえ、どうして女の子っておしゃべりなんだろうね~。一丁前なのよ。」
というママさん。その理由が欲しいわけではなく、共感できたらなって思って口からでる言葉。

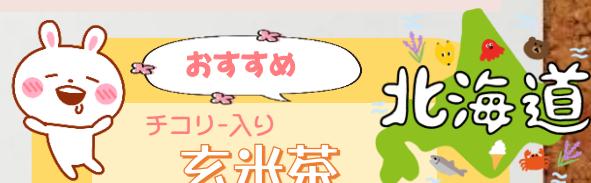
育児していると、娘の成長が楽しかったり、時にイラつしたりもするものです。

では、勝手ながら仕組みをちょっとだけ知ってみましょう。
脳の[左脳]と[右脳]をむすんでいる場所を[脳梁](のうりょう)といいます。

脳梁の太さは女性の方が太く、
脳梁が太い方が、感情を言葉にするスピードが速くなります。
交換される情報量も多くなるので、感情が高ぶったり、不安定になりやすくなるのです。



だからかあ



おすすめ
チコリ入り
玄米茶

北海道

寒くなってくると温かい飲み物が嬉しいですね。しかも、この時期は何故かカフェインレスなものを欲します。
そんな時に、
香ばしい香りの
玄米とチコリの根を焙煎して
混ぜ合わせた優しいお茶
[チコリ入り玄米茶]
冬を前にホットとする味です。

中富良野
[天心農場]

